

請 願 文 書 表

(総合企画局)

件 名	核兵器禁止条約への批准の要請		
要 旨	広島と長崎にアメリカの原子爆弾が投下されてから72年を経た2017年7月7日、歴史的な核兵器禁止条約が採択された。同年9月20日には同条約への調印・批准・参加が開始され、2021年1月22日に発効した。現在94か国が署名し、73か国が批准している。 核兵器禁止条約は、核兵器について破滅的な結末をもたらす非人道的な兵器であり、国連憲章、国際法、国際人道法、国際人権法に反するものであると断罪し、これに悪のらく印を押した。 条約は、開発、生産、実験、製造、取得、保有、貯蔵、使用とその威嚇に至るまで、核兵器に関わるあらゆる活動を禁止している。条約は、被爆者や核実験被害者への援助を行う責任も明記している。核兵器禁止条約は、被爆者と共に私たち日本国民が長年にわたり熱望してきた核兵器完全廃絶につながる画期的なものである。 この核兵器禁止条約の規範力を強化し、核兵器の使用を防ぐことが強く求められている。 2022年2月24日、ロシアのプーチン大統領は、ウクライナへの軍事侵略に合わせて、「ロシアは世界で最も強力な核保有国の一つだ。我が国を攻撃すれば壊滅し、悲惨な結果になる。」と核兵器による威嚇を行った。その後も繰り返し核使用の脅迫を行いながら侵略を続けている。また、パレスチナのガザ地区でジェノサイドを行っているイスラエルは、閣僚がガザへの核兵器使用を選択肢と発言した。これらは、核兵器の使用・威嚇を禁じた核兵器禁止条約への明確な違反である。 2024年10月11日、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）がノーベル平和賞を受賞した。被爆者の皆さんが自らの体験、証言を通して核兵器の使用をタブーとする世界的な規範の成立に貢献したとノーベル委員会は讃えている。今こそ広島、長崎の原爆被害を体験した日本の政府は、核兵器の使用を許さず、核兵器を全面的に禁止させる先頭に立たなければならない。 ついては、日本政府に対し、速やかに核兵器禁止条約に署名し、国会で批准することを求める意見書を提出することを強く願う。		
受理年月日	令和7年9月11日	付託委員会	総務消防委員会

受理番号	請 願 者	紹 介 議 員
370		山本 陽子、えもとかよこ 山田こうじ、加藤 あい

371		山本 陽子、えもとかよこ 玉本なるみ、加藤 あい
372		山本 陽子、えもとかよこ 玉本なるみ、加藤 あい
373		山本 陽子、えもとかよこ 玉本なるみ、加藤 あい
374		山本 陽子、えもとかよこ くらた共子、加藤 あい
375		山本 陽子、えもとかよこ くらた共子、加藤 あい
376		山本 陽子、えもとかよこ とがし 豊、加藤 あい
377		山本 陽子、えもとかよこ とがし 豊、加藤 あい
378		山本 陽子、えもとかよこ とがし 豊、加藤 あい
379		山本 陽子、えもとかよこ とがし 豊、加藤 あい
380		山本 陽子、えもとかよこ とがし 豊、加藤 あい
381		山本 陽子、えもとかよこ 平井 良人、加藤 あい

382		山本 陽子、えもとかよこ 北山ただお、加藤 あい
383		山本 陽子、えもとかよこ 山田こうじ、加藤 あい
384		山本 陽子、えもとかよこ 加藤 あい
385		山本 陽子、えもとかよこ 加藤 あい
386		山本 陽子、えもとかよこ 加藤 あい